

科目名	キーボード・ソルフェージュⅢ				担当	今井 香織・堀井 園実 篠澤 友子・伊藤 あや		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	高等学校音楽教諭、幼児音楽教室講師経験有	
必修	—				ナンバリング	Y3603	DPとの関連	3
授業概要	習熟度別クラスによるグループレッスン。1年次の「キーボード・ソルフェージュⅡ」の発展的内容。保育現場での活用を視野に、歌などのレパートリーを拡げていく。90分を2分割し、3～4名程度の小グループレッスンとレッスン内容定着のための練習時間を設け、レッスンを進める。季節に因んだ歌やその他保育現場でよく使われる歌から自身で課題を選択し、弾き歌い曲やピアノ曲のレパートリー拡充を図る。実習に関わる個々の課題にも対応する。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 楽譜通りに演奏するだけでなく、保育現場を想定した伴奏法や音楽の提示法を工夫するための技能を習得する 歌唱や演奏の技術向上を目指し、分析的視点から効率的な練習計画を立てられるようになる 							
授業計画	回	内容						
	1	歌(復習)と Pf. 課題-1		保育現場でよく歌われる歌(歌唱と簡易伴奏)/ピアノ選択課題				
	2			同上				
	3	歌(復習)と Pf. 課題-2		保育現場でよく歌われる歌(歌唱と簡易伴奏)/ピアノ選択課題				
	4			同上				
	5	歌(季節の歌)と Pf. 課題-3		春・夏に因む歌や曲/ピアノ選択課題				
	6			同上				
	7	歌(季節の歌)と Pf. 課題-4		春・夏に因む歌や曲/ピアノ選択課題				
	8			同上				
	9	歌(その他)と Pf. 課題-5		保育現場でよく歌われる歌(歌唱と簡易伴奏)/ピアノ選択課題				
	10			同上				
	11	歌(その他)と Pf. 課題-6		保育現場でよく歌われる歌(歌唱と簡易伴奏)/ピアノ選択課題				
	12			同上				
	13	歌(その他)と Pf. 課題-7		保育現場でよく歌われる歌(歌唱と簡易伴奏)/ピアノ選択課題				
	14			同上				
15	前期試験に向けて		試験に向けたレッスン					
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 保育現場を想定した伴奏法や音楽の提示法を工夫するための技能が習得できたか 歌唱や演奏の技術向上を目指し、分析的視点から効率的な練習計画を自身で立てられるか 							
評価方法	期末試験 40% その他 60% (総合演習 ①～③における習熟度 30% 各回の課題への予習状況 30%)							
フィードバック 方法	試演後は授業内で講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク、ペアワーク							
教科書	・『簡易伴奏による こどもの歌ベストテン 改訂新版』ドレミ楽譜出版社 ・開講時に共通課題を配布。A4サイズ30穴のリングファイルを各自用意すること							
参考書	担当講師の裁量により副教材を指示することがある							
履修条件	「キーボード・ソルフェージュⅠ」の単位を修得していること							
授業外学習	毎時間の予習・復習のため、授業外の練習が必須							
オフィスアワー	掲示等で確認のこと							